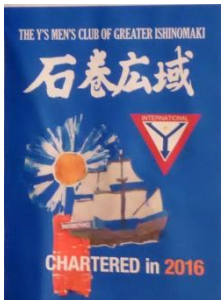
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



石巻広域クラブ通信 ＜№103＞

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3,Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854,Japan

〒986－0854　石巻市大街道北２－12－3
旧栄光幼稚園２階 YMCA 石巻センター
電話 090-1373-3652(川上) 090-2365-7940（清水）

E-mail：gishinomaki@gmail.com　E-mail: koichi6759@outlook.jp

2025年4月号

＝＝ 2024－2025 年度　主題 ＝＝

クラブ会長　関川祐一郎「お互いを知り、支え合いながら、地域を愛し、地域に奉仕しよう！」
北東部部長　大久保知宏（宇都宮）「戦略 2032 を意識して 」
東日本区理事　山田公平（宇都宮）「ワイズの方向性を見極める」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン（香港）「大きなインパクトを起こそう」
国際会長 A・シャナヴァスカーン（インド）「より良い世界のために、共に」

＜今月の聖句＞

「すべて重荷を負って労苦している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう」（マタイによる福音書 11：28）

＜強調月間：Week4W(ごみのための週)／RBM＞

2025 年4月第一例会プログラム

日　時　４月１８日（金）18:30～20：30
場　所　YMCA 石巻センター

＜例会プログラム＞　司会：川上直哉

1. 開会点鐘　会長　関川祐一郎
2. ワイズソング・ワイズの信条　一同
3. ゲスト・ビジター紹介　司会
4. 会長あいさつ　会長　関川祐一郎
5. 今月の聖句・お祈り　会長
6. 食事と懇談
7. ゲストスピーチ（プロフィールは 3 頁を参照）
   日本キリスト教団　石巻山城町教会
   牧師　小松　理之（まさゆき）様
   テーマ：「自己紹介」
7. 諸報告
   ①ＹＭＣＡ報告②神戸チャリティーコンサートの件③東・西日本区大会④区大会 2026 ホスト実行委員会開催について⑥第 31 回アジア太平洋地域大会熊本 2025 登録について⑦その他
8. ハッピーバースデー
   5 日：千葉徳正さん　18 日：石川光晴さん
9. ニコニコ
   「ミャンマー地震緊急支援募金のために」　会計
10. 閉会あいさつと点鐘　会長　関川祐一郎

第 29 回東日本区大会（石巻）の開催に向けて

東日本区大会 2026 ホスト委員長　川上直哉

2025 年 4 月 12～13 日に、東日本区の第 3 回役員会が開かれました。清水ワイズがそこで区の行政監事として出席されました。私たちからの大会に向けての要望も理解され、区大会実行委員会とホスト（委員会）の設置が承認されました。今後代議員会での承認が必要ですが、そのことを、感謝して、報告します。

２０１１年の震災を受けて、YMCA に関わる全ての人々は、結束し、動きました。とりわけ、日本中の各都市 YMCA と、そして東日本区のワイズメンズクラブは、素晴らしいチームワークを発揮して、広域に支援を展開しました。石巻はその恩恵を豊かに受けた被災地のひとつです。

その支援活動を、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区として、総括したい。その様に、ずっと模索が続きましたが、まとまりませんでした。

＜次ページへ続く＞

■３月データ ／ ４月号内容：4 月例会プログラム・巻頭言「第 29 回東日本区大会の開催に向けて」、3 月第一例会報告、4 月拡大役員会報告、5～6 月クラブスケジュール、5 月例会案内、ヨガ教室（パート 46 報告）、YMCA 報告、投稿「自画自賛」後編など

3 月例会出席	25 名	在 籍 会 員 数	17 名	各種記録	月実績	年度 累計
メンバー	12 名	月 間 出 席 者	12 名	スマイル	39,500 円	108,970 円
ビジター・メネ	10 名	メーキャップ	2 名	ファンド	0 円	29,302 円
ゲスト・コメ	3 名	月 間 出 席 率	82%	BF	0 円	0 円

会　長	関川　祐一郎
副会長	石川　光晴
書　記	川上　直哉
会　計	清水　弘一
直前会長	青木　満里恵
担当主事	半澤　明美
監　事	石田　信正

＜前ページより＞

そこで「震災から 15 年・石巻クラブ発足から 10 年の節目になる 2025 年に、その総括をしよう」という提案が出され、みんなで協力することになったことでした。

東日本区のワイズメンズクラブの今の課題は、ダウンサイジングです。今回、小さな新興のクラブである石巻広域クラブが仙台 3 クラブの指導と協力を得て大会をホストすることで、その課題にも挑戦するきっかけを創る。そうした試みが、会議にかけられました。

結果、東日本区が相応の役割を得て、来年の大会は実行されることになりました。それは東日本区の改革を大きく前進させるものとなったと思います。これが、あるいは、被災地からの恩返しのひとつになるかもしれません。まず、感謝して、報告いたしました。

「3.11 追悼礼拝と感謝のつどい」＆「3 月第一例会」・報告

書記　川上　直哉

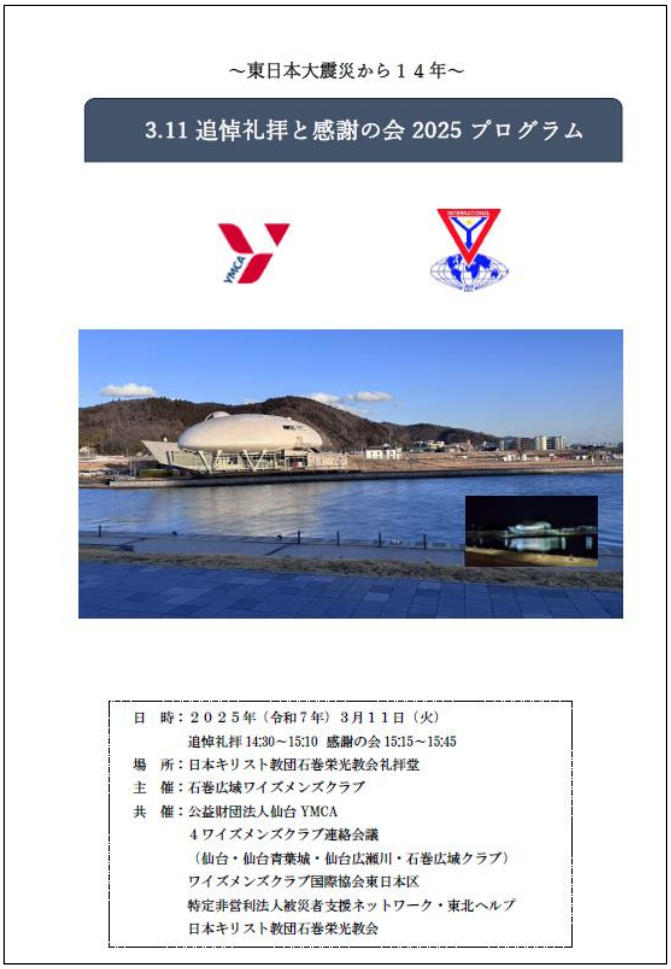
2025 年 3 月 11 日午後 2 時半から「3.11 追悼礼拝と感謝のつどい」が日本基督教団石巻栄光教会にて、そして、同日午後 6 時半から例会が石巻グランドホテルにて、行われました。

「追悼礼拝と感謝のつどい」には、会場に 30 名ほど集まり、オンラインに 50 件の個人・団体が参加してくださいました。共催くださった石巻栄光教会の皆様のご協力もあり、例年以上にスムースに勧められたと思います。礼拝後の「感謝の会」では石井龍子ウイメンのハープ伴奏で「花は咲く」を歌い、意義ある会の締めくくりとなりました。**（写真右上礼拝堂 →）**

＜入会式・ユースのアピール・DBC 交流会＞

同日の夕方に行われた第一例会では、神戸からポートクラブの方々が実際にお越しになり、また、オンラインでも参加くださいました。東日本区次期理事の山下真さん、仙台ＹＭＣＡ総主事の加藤雄一さん、そして神戸ポートクラブの大野智恵さんが立会人となって下さり、川上恵さんの入会式 **（写真右中→）** が行われました。現理事の山田公平さんからも歓迎の言葉を頂き、祝された時となりました。また「YMCA 報告」の一部として、ユースからの「YMCA パヤオセンターに自転車を贈ろう」という募金アピールがあり、そのアピールに触発されて、2011 年 3 月の「九死に一生を得た」クラブ出席者メネットより体験談が語られ、思い出深い会となりました。**（ホテルロ ビーでの集合写真下→）**

終了後、神戸ポートクラブの方々を囲んでの「交流会」もありました。東京から頻繁に石巻に来てくださる金指崇（ピアニスト）さんも、全日程をご一緒下さり、よい交流の時となりました。



ゲストスピーカープロフィール

日本キリスト教団正牧師
石巻山城町教会　小松　理之　様
１９９１年　東北学院高卒
１９９５年　東北学院大卒
２０００年　東京神学大学院
（前期課程）卒
その後、幾つかの教会に赴任し、
この度、下関教会から石巻山城町教会へ

ＹＭＣＡ 報 告

担当主事　半澤　明美

① ３月２９日（土）に入職式、辞令交付式が立町会館で行われました。異動の方も含め、各法人の理事長より一人ひとりに辞令が手渡されました。初めて礼拝を経験する方もおり、緊張感もありましたが新入職員代表の方の決意表明は力強く頼もしいものでした。神様に導かれ、ともに働く仲間として出会えたことに感謝します。（写真下↓）

② ４月２７日（日）よりイチゴワークが始まります。東日本大震災の復興支援の一環として活動を続けている、山元町のいちご農家のボランティアが今年度も始まります。震災をわすれないため、復興の現状を確認するためにも引き続き支援を続けていく予定です。

③ ミャンマー地震緊急支援募金
３月２８日に発生したミャンマーで発生した地震では各地で甚大な被害が生じています。震源地に近い YMCA では保育園や教会への被害もあったとのことです。日本 YMCA 同盟より緊急募金の案内が参りました。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

ポジティブネット YMCA 国際協力募金

YMCA

ミャンマー地震 緊急支援募金

2025 年 3 月 28 日に発生した地震によりミャンマー国内各地において甚大な被害が発生しています。すでに初期段階において、死者 1,000 人以上、負傷者 2,200 人以上、行方不明者 200 人以上という数字が伝えられていますが（UNOCHA4/1 時点）、地震発生以前から人道的危機状況にあったこともあり、被害状況はさらに広がることが懸念されています。
ミャンマー YMCA ではミャンマー・スカウト協会と協力し、被災者の方々への緊急支援活動を開始。現地ミャンマー YMCA からの緊急支援要請に応えるため、日本の YMCA では緊急支援募金を実施します。募金は、アジア太平洋 YMCA 同盟等を通じて、マンダレー、ネピドー等、ミャンマー YMCA が行う支援活動のために用いられます。皆様のご協力をお願いします。

被災したネピドー YMCA

YMCA は、
世界最大規模の青少年団体です。
世界 120 の国と地域で展開し、6500 万人が参加。地域社会に強く根ざし、人々のウェルビーイング、やりがいのある仕事と環境の想像、持続可能な地球、公正な世界の実現を目指し活動しています。

VISION 2030

■募金はこちらへ

①仙台YMCAから募金する
仙台YMCA受付窓口または仙台YMCA関連施設に設置してある専用封筒、またはお配りした専用封筒に募金を入れていただき担当者にお渡しください。

募金期間：2025年5月17日まで

②日本YMCA同盟に直接募金する
・クレジットカード決済・銀行振込み
こちらのQRコードより募金ができます

・郵便振替
00190-6-464236
日本YMCA同盟地域国際募金口
「ミャンマー地震」と記載ください。

募金期間：2025年5月31日まで

公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003　東京都新宿区四谷本塩町 2 番 11 号
Tel 03-5367-6640　FAX03-5367-6641　Email Info@japanymca.org

ミャンマー YMCA について

ミャンマーでは旧ビルマ時代の 1897 年から YMCA の活動が始まり、現在は全国に 31 の地域に YMCA があります。ユースエンパワーメント、高齢者や困難な状況にいる子どもたちのケア、PC・ヘルスケア・建設・料理などの様々な就業トレーニング、マイクロファイナンス、地域の持続可能な生活とエンパワーメントなどに取り組み、毎年 12 万人が参加しています。コロナの感染拡大が始まった当時、オフィスの閉鎖を余儀なくされましたが、貯水タンクなどの建設プロジェクトは携わる人々の生計に影響が出るため、できる限り中断をせず、各種トレーニングプログラムもオンラインに移行し、活動を再開しました。

ミャンマー YMCA は日頃より地域コミュニティで子どもたちや高齢者のための活動をしており、ミャンマーの人びとからの信頼も篤く、地震の発生直後から、ミャンマー・スカウト協会と協力し、被災者支援活動を展開しています。

今回の地震による被害の状況

・震源地マンダレーで多くの被害が出ており、マンダレー YMCA 保育園にも被害が出ている。
・ネピドー YMCA 保育園の建物被害、ピンマナ事務所の塀や建物が倒壊。
・ネピドー YMCA の近隣のイエジン教会が倒壊。

みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いします。

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区も YMCA とともに緊急支援募金をスタートいたしました。

4月拡大役員会報告

日　時　2025年4月19日（土）　17：00～17：30
場　所　石巻センター
出席者　関川祐一郎、川上直哉、日野峻、清水弘一、大林健太郎

1．開会点鐘　関野会長
2．ワイズソング　全員
3．会長あいさつ　会長
4．軽食　なし

5．報告事項

（1）2025年4月第一例会の開催について
日　時　2025年4月18日（金）18：30～20：30
場　所　YMCA石巻センター
内　容　ゲストスピーチ　石巻山城町教会
牧師　小松理之様
出席者　関川祐一郎（ZOOM）、石井龍子、大林健太郎、川上直哉、川上恵、川上奏、半澤明美、日野峻、清水弘一　＜ゲスト＞小松理之（石巻山城町教会牧師）松川ふみ子・遠藤正枝（歌の会フレンズ）

（2）ハポン・ハセクラ協会東北クロシングⅡ開催報告
日　時　2025年4月8日（日）～4月11日（金）全体スケジュール
内　容　① 4月9日（水）松島瑞巌寺出発～日和山出迎え、夕食会　② 4月10日（木）月の浦出発見送りとWack女川スタジアムでの出迎え、夕食会
参加者　大野勉（神戸ポート）、川上直哉、青木まりえ、清水弘一、李裕弦、森邦子（石巻栄光教会）

（3））YMCAストレッチヨガ教室開催報告
日　時　2025年4月16日（水）10時～12時
場　所　市営新蛇田集会所
出席者　平井順子、清水弘一、川上直哉

（4）第29回東日本区大会2026（石巻大会）第2回ホスト実行委員会開催報告
日　時　2025年4月19日（土）15時～17時
場　所　石巻センター
議　事　別紙レジメ参照

（5）3.11記念誌の発行について
①4ワイズメンズクラブ常議員会の方針と計画
②発行委員会と編集委員会の編成
③発刊までのスケジュール、発行部数、配布先、予算等

6．協議事項　議長　関川祐一郎

（1）DBC神戸ポートクラブチャリティーコンサート参加について
日　時　2025年4月26日（土）14：00～16：00
場　所　神戸聖愛教会礼拝堂
参加予定者　川上直哉・石井龍子、大林祐子、清水弘一

（2）5月第一例会と拡大役員会開催について
①拡大役員会　2025年5月09日（金）17：00～18：30
石巻センター
②第一例会　2025年5月23日（金）18：30～20：30　石巻センター
ゲストスピーカーの選定など

（3）DBC東京むかでクラブ2025シニアY・Y・Yキャンプ開催について
日　時　2025年5月30日（金）～6月1日（日）
場　所　YMCA山中湖センター
参加者　清水弘一

（4）第28回東・西日本区大会参加と2026石巻大会アピールについて
＜東日本区大会（宇都宮）＞
日　時　2025年6月6日（金）～7日（土）
場　所　ライトキューブ宇都宮
参加者　関川会長、石川副会長、川上、清水、石井
交通手段　①6月6日（金）出発グループ
②6月7日（土）出発グループ
③手段：ワゴン車又は新幹線
＜西日本区大会（神戸）＞
日　時　2025年6月14日（土）午前9時～午後8時　前夜祭は13日
場　所　ANAクラウンプラザホテル神戸
参加者　川上ホスト委員長、清水

（5）第31回アジア太平洋地域大会熊本2025への参加について（下：スケジュール一案）
日　時　2025年8月1日（金）～3日（日）
場　所　熊本城ホール、ホテル熊本日航など
参加者　川上直哉、川上恵、川上灯（YVF）石井龍子、櫻井美智江、清水弘一

（6）次年度（2025－2026年度）のクラブ会長方針、事業計画などの作成について
③　次年度会長方針と年間計画　②次年度役員構成案
③　区大会ホスト委員会スケジュール

（7）クラブブリテン5月号の発行について
・発行日　2025年5月23日（金）、原稿締め切り
・内　容　①5月号巻頭言（5月18日（日）梶原）②4月第一例会報告（川上）③ハポン・ハセクラ交流記（川上）④神戸チャリティーコンサート報告（石井）

（8）その他　（今年度クラブ会費納入のお願い等）

7．閉会あいさつと点鐘　関川会長

YMCA ストレッチヨガ教室
パート 46 開催報告

日　時　2025 年 4 月 16 日　10:00～11:30
場　所　新蛇田集会所
参加者　12 名（女性 9 名、男性 3 名）

石巻地方にも本格的な春のシーズンが到来、待ちかねた桜も満開（右下写真は日和山公園↓）となりました。東日本大震災から 14 年、YMCA のお楽しみストレッチヨガ教室も通算 46 回目を迎えました。

川上ワイズのお手伝いで会場設営を 30 分前には終了し、まもなく講師の金森先生が仙台より到着、久方振りの参加者もありました。いつもの通り金森講師の軽妙な会話とリードで笑い声とともに体がほぐれ、次回迄の体調管理の宿題なども受けて和気藹々の内にもしっかりと汗を掻きました。

終了後は、お楽しみのお茶会、用意されたお菓子をほお張りながら近況報告。石巻の桜の名所はどこ？高齢者の転倒事故の 80%は自宅での発生の事例などと、話は尽きませんでした。

次回の開催日は 6 月 18 日（水）、次々回の開催は 8 月 27 日（水）を確認して散会しました。

クラブスケジュール（4 月～6 月）

プログラム名	月　日	場　所
クラブ 4 月例会	4 月 18 日(金)	石巻センター
〃　4 月拡大役員会	4 月 19 日(土)	石巻センター17 時
第 2 回区大会ホスト実行委員会	4 月 19 日(土)	石巻センター15 時
神戸ポートクラブ チャリティーコンサート	4 月 26 日(土) ~27 日（日）	神戸聖愛教会礼拝堂
第 3 回東日本区大会 2026 ホスト委員会	5 月 9 日(金)	石巻センター 17 時
クラブ 5 月拡大役員会	5 月 9 日(金)	石巻センター 19 時
〃　5 月第一例会	5 月 23 日(金)	石巻センター
東京むかでクラブ シニア Y・Y・Y キャンプ	5 月 30 日(金) ~6 月 1 日(日)	東京 YMCA 山中湖センター
東日本区大会 2026 マキアート会場申込	6 月 1 日（日） ＜9 時＞	マキアート（電話で申込）
第 28 回東日本区大会	6 月 6 日(金) ～6 月 8 日(日)	6／6：前夜祭 6／7：本大会 6／8：エクスカーション
クラブ 6 月拡大役員会	6 月 10 日(火)	石巻センター17 時
第 28 回西日本区大会	6 月 13 日(金) ～6 月 14 日(土)	6 月 13 日：前夜祭 6 月 14 日：本大会
YMCA バザー	6 月 15 日(日)	立町会館
YMCA ヨガ教室	6 月 18 日(水)	新蛇田集会所 10 時～
クラブ 6 月第一例会	6 月 27 日(金)	ご苦労さん会
仙台 YMCA 大会（創立 120 周年記念）	6 月 28 日(土)	立町会館

5月ホスト委員会・拡大役員会
第一例会のご案内

ホスト委員会：2025 年 5 月 09 日(金) 17:00~
拡大役員会：　〃　19:00~
第一例会：2025 年 5 月 23 日(金) 18:30~

＜場所：いずれも石巻センター＞

日和山公園の桜

＜3.11 とサケ･マス研究回顧録＞

自 画 自 賛（後編）

投稿　石田　信正

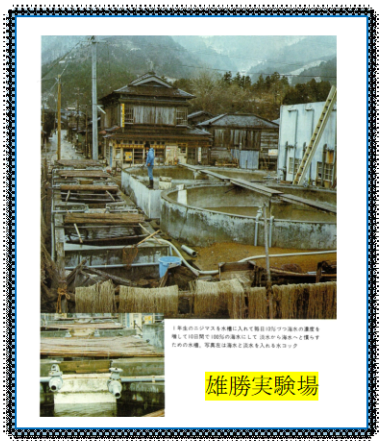
＜前号（103 号）よりつづく＞

いよいよスタートです。孵化場からはシロサケの稚魚、蔵王山麓の養鱒場からはニジマスの稚魚を搬入して飼育開始です。もの言わぬ貝という表現がありますが、魚は馴れてくると水温計と餌を間違えて食いついてきたり、いろいろなパホーマンスで初めのうちは我々を楽しませてくれましたが、夏には準備した冷水機では水温を下げきれず、夜中にも冷凍庫からの氷投入での対応、とすっかりお荷物的存在になってしまいました。

研究を継続・拡大するためには問題点を取り除く必要があります。

雄勝湾は親潮の先端が差し込み、対馬暖流が津軽海峡を経て南下する青森・岩手の沿岸より海水温が低い、という知見を得ました。

早速科学技術庁に予算を申請し、昭和 42 年（1963 年）～43 年「サケ・マス海中養殖に関する調査」の名のもと、雄勝町分浜に大型水槽を有する実験場（寝泊まり可）を建設し、分浜の海岸には区画網、水浜の海面には筏を設置し、体制を整えました。



雄勝実験場

しかし当時の予算としては極めて大型で、それなりの成果を求められております。

そこでメンバーに加わったのが、吉田文一さんです。大学で吉田さんはサケを対象に、新しい研究手法も学び、大学とのパイプ役にもふさわしく、期待を背負っての着任でした。

突然ですが、淡水魚と海水魚の違いをおわかりでしょうか。そうです、淡水魚は塩分を取り込み真水を排出しないと水膨れになり、海水魚は逆に水を取り込み塩分を排出しないと塩漬けになってしまいます。

すっかり淡水魚になりきったニジマスを海水で飼う、つまりニジマスの場合は先祖帰しのための技術開発です。

いろいろな飼育海水濃度の変化にともなう魚体自体の変化を解明する必要があります。

腎臓や鰓は組織標本（プレパラート）で、また血液の塩分濃度は氷点降下度（塩分濃度が高くなると凍りにくくなる）の手法で解明し、先祖帰しへの海水馴致法を確立することができました。

一方の海面での大量生産の開発では生簀を海底に沈めても夏を越せず、さらに区画網は十勝沖地震による津波で破損し、成果を得られずに終了してしまいました。

しかしその直後、ニジマスの海面養殖は我々の指導のもと、雄勝の湾奥部で山下さん？（ガソリンスタンド経営）が小規模ながら取組み、また大手水産会社の子会社・北日本養魚が 300 トンを生産しております。

でも当時は大型ニジマスへの需要がなく、先祖帰しの海水馴致技術（淡水魚を海水で飼育するより、当然海産魚を海水で飼育するほうが簡単）を残して終了しました。

昭和 50 年（1975 年）ギンザケの海面養殖が志津川湾で始まりました。

大手の日魯漁業（株）がギンザケ稚魚の供給を、地元漁業者が飼育を担当する、という関係でのスタートでしたが、見事開花し、50 年続くブランド商品となっております。

今やサーモンといえば養殖漁を指すようになり、天然ものは貴重品扱いです。
50・60 年前の我々の仕事が役立っているようです。
■ここに当時の仕事が記載されている数少ない刊行物を列記し、その内容を併記してみました。
＜ 刊行物の紹介 ＞

1．日本の水産　「鮭」　（全日本水産写真資料協会　1972）
ニジマスの海水養殖（雄勝）：雄勝町分浜部落と県水産試験場雄勝実験場（科学技術庁予算での事業）の全景を収録（先月号プロローグ 6 行目の資料とはこの刊行物です）

2．佐藤重勝著　サケ・・・つくる漁業への挑戦（岩波新書　1986 年）
科学技術庁の委託事業（前述）、水産庁が岩手県で実施した「有用魚類大規模海中養殖等実験事業」での我々の果たした内容を紹介。

3．銀鮭養殖ハンドブック（北海水産新聞社　1986 年）

4．同上ハンドブックの目次
私がサケ・マス海面養殖のパイオニアとした 3 人のうち、小金沢・石田の二人はギンザケにタッチしたことがないのに、吉田のギンザケ養殖試験の成果に便乗し、ギンザケ養殖ハンドブックに名を連ねるおもしろさ。
また私がその後サケ・マスに関わった新聞記事・刊行物は次のとおりです。

5．サケが帰ってきた（河北新報県内版　1972 年 1 月 1 日）
栽培漁業（育てて獲る漁業）センター開所前に、栽培漁業の未来像をみてもらうためサケを放流し回帰させるというデモンストレーション。みごと的中した物語。（↓記事は 1972 年 1 月 1 日の河北新報）

6．鮭（河北新報社編集局編　1979 年）
昭和 53 年 1 月 1 日から 2 月 26 日まで、サケと人々との関係を連載。
そのなかに上記 5 の記事の要約が記載されている。

7．6 の要約記事

資料　5。サケが帰ってきた　（河北新報県内版　１９７２年　１月　１日）
栽培漁業（育てて獲る漁業）センター開所前に、栽培漁業の姿をみてもらうため、
サケを放流し回帰させるというデモンストレーション。みごと的中した物語。
サケが帰って来た
後川（仕掛）にうれしい
一人旅、産卵

以上の書籍に興味を持ち、もっと詳しく知りたい方には書籍をお貸しいたします。

エピローグ

長々と書いてきました。書きながら私がパイオニアとした 3 人が 3 人とも、我がクラブの会員と繋がっていたのに気が付きました。
私は当然です。小金沢さん、（故人）は青木直前会長のご尊父と懇意。その関係で私も 50・60 年前、ガス会社の温水プールでの鯉養殖をお手伝いしたことがあります。
吉田さんは従妹が石巻山城町教会で関川先生にお世話になり、既知の関係にあります。
これらの繋がりもあり、私は私なりに、私たちが手掛けたサケ・マスとクラブの事業との間で何か役立つことがないかを考えてみました。
ありました。仮称「サンファン・サーモン・寿司街道」です。
サンファンは雄勝で建造され、石巻佐須には「サンファン・ミュウジアム」があります。

サケは雄勝が海面養殖発祥の地、隣の志津川湾はギンザケ養殖発祥の地、などなど。
寿司は気仙沼から石巻に至る各地で、それぞれの土地特産の「ネタ」を売り物にして頑張っております。
（↓下の写真は復興した志津川湾）

この三者を点から線に組み替えれば、仮称「サンファン・サーモン・寿司街道（ロードのほうがいいですか）」、が実現し地域に貢献できるのではないかと思っております。

そして個人的には、よりマッカーサーの心境（栄光を含む）に近付き、皆様に思い出して頂ける頻度（食卓にサケ＝石田のイメージなど）が増えるのではないか？。
色気が大分大きくなりすぎてしまいました・・・・・

長々と書いてくるうちに、枯木の私にも花が咲き、花咲爺にまで昇格することができましたので、自画自賛を終えます。

でも、例えばネーミングにしても「サンファンのS、サーモンのS、寿司のSでスリーロードはどうだろう？」など、と想いは尽きません。

皆様にも是非ご一考をお願い申し上げる次第です。

了

←←← 老朽化のため実物大の 4 分の 1 に復元されたサン・ファン・バウティスタ号（宮城県慶長使節船「サンファン館」に展示されている。）
https://www.santjuan.or.jp/renewal.html